

ひものながさをくらべよう

単 元	おおきさくらべ	対象学年	1 年
ね ら い	どちらが長いか予想し、比べる方法を考え直接比較を知り、長さ比べの活動に興味と関心をもつことができる。		

1 準備するもの

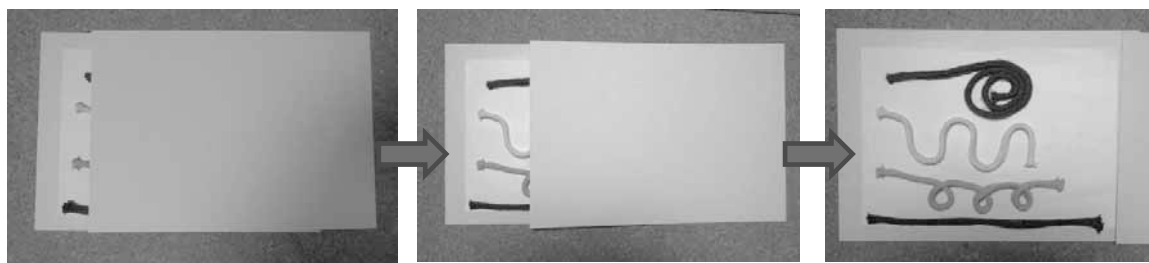
教師：ひも 4 種類が貼ってあるボード

(まっすぐのもの・うずまき状のもの・ぐねぐねまがっているもの・まるまっている箇所があるもの)

※ひもを二重にしておき、児童が取り外して説明に使っても、ひもがボードに残るようにテープのりでとめておく。

2 学習のしかた

(1) ひも 4 種類をはりつけたボードを厚紙で隠し、児童に少しずつ見せる。(長さについて興味をもてるようにする)

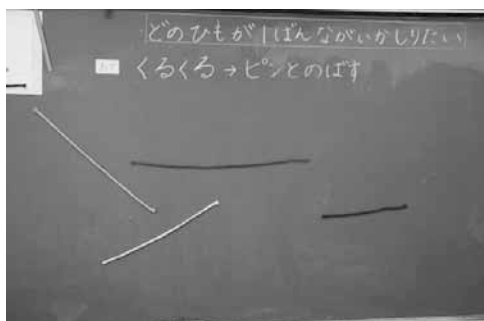


(2) 全部見せた後、「どのひもが一番長いでしょう」と問いかける。

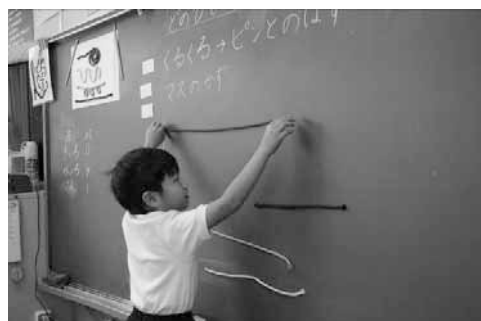
(3) 見た目だけでは長さの判断ができないことに気づき、どのようにすれば比べることができるか考える時間をとる。(ノートに自分の考えをまとめさせ、その様子を把握する。)

(4) みんなで考える。

「ピンとのぼす」という条件だけを方法としている児童から意図的に指名する。その状態をひもで表し、比べるためには、もうひとつの条件である「端をそろえる」ことに気付くように板書する。



①ピンとのぼすの条件だけをあらわした状態



②実際にひもを移動させて説明する児童